

令和5年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・製作活動を経験する場を設定することで、互いの作品を見合ったり、教え合ったりする場面も見られ、互いに学び合う態度が身に付いた。
- ・学習用タブレットを活用することで、児童がわからない言葉などを調べ、理解につながった。「環境を考えた生活」では、興味をもったことをより深く調べ、普段の生活に生かしていくことができた。
- ・家庭で取り組む課題を出したことで、授業で学んだことを実生活の中でも実践することができた。家庭での仕事を手伝うようになったり、普段の生活習慣を改善したりする様子も見られた。また、実践報告会を設定することで、友達の考えを参考にし、自分の考えを広げることができた。

(2) 課題

- ・学校での実習経験が無い場合、実習の方法や時間配分について検討する必要がある。
- ・「ソーイング」の単元では、時間内に終える工夫が必要である。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・教師の模範を実際に見せたり、ICTを活用したりし、用具の扱い方や作業ポイントを分かりやすく説明し、指導する。 ・基礎的、基本的な内容は、繰り返し練習させたり、ペアで作業したりする場を設定する。また、保護者に作業補助のボランティアとして協力を求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がイメージをもって主体的に工夫して活動が進められるように、実践例をいくつか提示する。 ・話し合い活動や実践報告会を設定することで、友達の考えを参考にしながら、自分の考えを広げていけるようにする。 ・児童が課題意識をもって取り組めるように、学習カードやワークシート、資料をわかりやすく工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭生活から課題を見付けたり、家族と話し合ったりする機会を設定することで、児童が家族の一員としての自覚をもち、主体的に取り組もうとする意欲を高める。 ・学習したことを実生活にも生かせるよう、その際には、保護者へ協力の依頼をする。家庭での仕事（調理や掃除、片付けなど）に取り組む機会を設定する。